



●JFMA機関紙 JFMA JOURNAL(ジャフマジャーナル)の別冊「JFMA JOURNAL R」シリーズの第5弾！
JFMA調査研究部会の研究成果をまとめた『JFMA 2013年9月に発刊し、その後2年ごとに発刊し、21

わがふるさとの安全・安心はサステナブルに担保されているだろうか？ 公共インフラの健全な維持管理をFM（AM）手法で！

4年ほど前に立ち上げた「健康経営タスクフォースからはじまった生産性・創造性をめぐる大きな課題インフラタスクフォース」は、大きく膨れ上がった家計的課題がテーマです。また、昨年度発刊した「



「最後の警告 - 今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ！」

この警告は平成26（2014年）年4月14日国交省社会資本整備審議会道路分科会から発せられた「道路の老朽化対策の本格実施」に関する提言の冒頭の文書である。

あれから7年経過し事態はどれくらい好転したのだろうか？「国破れて山河在り」ならばまだしも私たちは故郷の山河もなくなっているのではないだろうか？（JFMAジャーナルR5文中引用）

春望（五言律詩。長安の賊中であって、春の眺めを述べる。）

国破山河在	国破れて山河在り
城春草木深	城春にして草木深し
感時花溅泪	時に感じては花にも涙を溅ぎ
恨别鳥惊心	別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火连三月	烽火 三月に連なり
家书抵万金	家書 万金に抵る
白头搔更短	白头 搔けば更に短く
浑欲不胜簪	渾て簪に勝えざらんと欲す

2021年秋の夜学校 座談会

配信：11月3日～9日

テーマ：わがふるさとの安全・安心はサステナブルに担保されているだろうか？
公共インフラの健全な維持管理をFM（AM）手法で！

ご登壇者

岩波光保東工大教授

一般社団法人産業競争力懇談会（COCN）：民間政策提言
理事長 遠藤信博 日本電気取締役会長

[トップ | 産業競争力懇談会 \(cocn.jp\)](http://cocn.jp)

・2017年フォーラム

「産業界が推進する Society 5.0」推進テーマ

- ・「人工知能間の交渉、協調、連携」 日本電気 主席研究員 森永聡
- ・「ロボティクスとその応用分野」 東京大学 教授 浅間一
- ・「インフラ維持管理」 東京工業大学 教授 岩波 光保
- ・「地域未来の社会基盤」 筑波大学 教授 大澤 義明
- ・「食のバリューチェーン」 三菱ケミカル 顧問 奥川 隆生

土木学会インフラメンテナンス総合委員会 幹事長

[土木学会インフラメンテナンス総合委員会 | \(jsce.or.jp\)](http://jsce.or.jp)

植野芳彦富山市参与

森市長に招かれ富山市建設技術統括官に着任され、当時の逸話としてご自身を「悪代官」と自認され毒を吐く！というのは冗談で、それだけ熱量の高い教育を「植野塾」として官民を問わず実施されています。

また災害時の医療用語である「トリアージ」をインフラ部門に適用した富山市独特のマネジメントモデルを構築しています。

部会長：中川均

副部会長：岩佐宏一

日本観光自動車道協会会長
（民間有料道路協会）

アイセイ代表取締役社長
（構造物点検調査専門家会社）
インフラメンテ国民会議企画委員